

挑戦者本人を囲む

2018年度前期「イノベーションフォーラム21」

－ 激変する科学・技術本流と世界の産業構造、日本製造業のグローバル競争力の回復を求めて－

とき・講師

ご依頼テーマ・概要

1

2018年

06/26
(火)



中川威雄氏
東京大学 名誉教授
ファインテック(株) 代表取締役会長
鴻海(ホワイ) 精密工業 特別顧問

グローバルな視点から、今後日本製造業の再躍進の鍵を考える I

『鴻海精密工業の躍進とグローバル競争力の核心、今後日本が挑むべき方向』

シャープを買収、短期間に甦らせた台湾の巨大企業“鴻海精密工業”はEMSという企業特性上、生産工場の実態は公表されていず“謎”が多い。この企業は創業者テリー・ゴウ氏抜きに語れない。私の氏と鴻海の係わりは四半世紀を越え、町工場から現在の巨大企業への急成長を間近に見てきた。日本に存在しないこの特異企業の発展を日本製造業の参考にしてほしい(中川氏談)。氏の専門は加工技術開発。東大生研時代、数々の新技術開発に挑戦。大河内記念技術賞二度、科学技術庁長官賞他多数受賞。



切削工具とスマホ筐体

2

07/13
(金)



武田健二氏
コランダム・イノベーション(株) 創業取締役
元(株)日立アメリカ上級副社長 CTO
理化学研究所 理事

グローバルな視点から、今後日本製造業の再躍進の鍵を考える II

『イスラエルと付き合って知る日本企業の弱みと強み』

社名は他物質と融合してルビーやサファイヤなど貴石を生み出す網玉に由来。イスラエルにアップル、グーグル、インテル、他先端医療企業など、革新的企業が研究開発拠点を置くのは何故か。氏は世界随一の革新性に優れると言われるイスラエルのスタートアップ・ハイテク企業に注目し、日本産業との連携推進を目的に同社を創立。氏は(株)日立製作所新事業推進本部部長、米国日立コーポレート・ベンチャーキャピタル部門プレジデント、理化学研究所理事を歴任。イスラエルの今日をご報告願ひ、今後の日本を考えたい。



先端AI・IoT研究



コランダム・イノベーション社運営の脳科学イノベーション拠点

3

08/23
(木)



坂本泰三氏
(株)リコー
事業開発本部 AM事業センター
製造コンサルタント

『リコーが挑む3DPrintingによる“ものづくり”革新とBioPrinting・医療分野への進出』

- ◎3Dプリンター技術による“ものづくり革新”への挑戦
- ◎バイオプリンティング技術によるヘルスケア分野への挑戦

リコーは1990年代から3Dプリンターを導入して“ものづくり”に活用し、3Dプリンターに繋がる技術(インクジェット、光学、材料等)開発を進めてきた。この経験と技術をベースに「金型を使わない、今後日本の新たな“ものづくり”・生産革新の実現」と「医療・ヘルスケア分野への進出」など、独自の新たな挑戦をご紹介いただき、今後の可能性や課題に触れていただく。DNAプリント、iPS細胞など組織の3次元構築は今世界が鎬を削る最先端課題。



瀬尾 学氏
(株)リコー 未来技術研究所
バイオメディカル研究室長



3Dプリンター製
高性能スピーカー



バイオ3Dプリンタ

4

09/7
(金)



島田啓一郎氏
ソニー(株)
執行役員
コーポレートエグゼクティブ 中長期技術担当

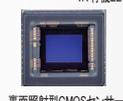
『顧客価値と技術革新と産業創出のからくり』

－ 5G+映像高度化+AIによる未来の暮らしと社会 －

AIと5Gモバイル時代に人の眼を超えた先端イメージセンシング技術が齎す変化は、Society 5.0具現化の典型例。氏が8mmビデオカメラ、パソコン等の商品化経験を通して得た顧客価値とイノベーションの関係から未来産業を語っていただく。曾て日本産業の象徴として輝いていた「SONY」は2009年から4期連続、累計1兆円近い赤字を計上。しかし2017年、過去最高益、祖業エレクトロニクス事業の復活も果してV字回復。日本の製造業が今直面している最大且つ本質的課題は、今起きているビジネスモデルの画期的変化への日本独自の対応だという。



4K有機ELテレビ



裏面照射型CMOSセンサー



AI搭載新型AIBO



PlayStation VR

5

10/3
(水)



生駒宗久氏
パナソニック(株)
フェロー
オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 エンジン事業担当 CTO

『パナソニックの車載用電池の開発とグローバル競争』

現在、パナソニックは車載用電池の世界のリーディングカンパニー。中国が世界最大のEV市場として急浮上する中、テスラと世界最大の車載用電池工場を共同建設中。しかし韓国LG化学、サムスン電子との熾烈な闘いに加え、今、中国が狙うEV世界制覇を支え、世界最大の車載電池メーカーになると目される中国CATLの急迫、テスラモデル3の遅れなど、問題も浮上。一方、トヨタ自動車との連携が成った。パナソニックにとって車載用電池は絶対負けられない戦い。



リチウムイオン(角形+円筒)電池

6

11/15
(木)



内藤昇氏
(株)コーセー
常務取締役 研究所長

絶対不可能と言われながら、大ヒット・空前のロングセラー商品となった

『思わぬ出会いと、8年の挑戦が実を結んだ世界初基礎化粧品の開発』

コーセーは1946年創業。“こだわり”と“感性”、“革新性”で知られる日本で3位の化粧品メーカー。創業家経営者の下、2017年最高益・5年連続売上高更新。固定客が多い。1992年、大ヒット・空前のロングセラーとなった基礎化粧品 美容液・世界初「モイスターリポソーム」を上市。きっかけは、この開発の中心・内藤氏が医薬品のデリバリー技術の講演で知ったリポソームが持つ“玉葱様構造”の肌効果への閃きだったという。当初、その安定性から商品化は絶対無理と言われた。



モイスターリポソーム



マイクロカプセル・リポソームの電子顕微鏡写真と構造

毎回の基本
スケジュール

13:30~14:30 講演 前半 15:00~16:00 講演 後半
14:30~15:00 コーヒーブレイク 16:00~17:00 Q & A

会場 森戸記念館
(東京・神楽坂)

新経営研究会
<http://www.shinkeiken.com>